

草の処理が不完全なところに大豆を作付したため。あいち海部農協に、地域に合った作物の検討や、虫の発生を未然に防ぐため農地の適正管理を要望した。

質疑

ファミリー・サポート・センター事業、民間保育所運営委託事業、学校給食事業など委託の会計検査の方法は。

答弁

各課から1件100万円以上の委託事業を抜粋した決算審査資料を事前に提出してもらい、監査事務局の職員が記載漏れ、契約変更などをチェックし、疑問に感じたものは、予算差引簿や支出調書で確認している。

国保特別会計決算認定

質疑

透析患者県下第2位との報道があった。国民健康保険財政に大きな負担があるとも伝えられているが、市の見解は。

答弁

生活習慣病の受診率を以前調べたが、平成22年5月のレポート調べで、糖尿病受診が11・71%あった。糖尿病性腎症は1・67%だった。長年の健康管理や食生活が影響している。
医療費の抑制は大きな問題。健康推進の取り組みの中で考えていきたい。

公共下水道決算

質疑

将来の繰入金、地方債の発行、公債費について、どんな見通しを持っているのか。

答弁

公共下水道総事業費は、282億円。起債の発行総額及び一般会計の繰入総額は膨大。建設工事費は、国庫などの財源を確保し、歳出の削減、起債の発行の縮小に努めた。また、接続促進を強化し、下水道使用料の収益の確保に努め、起債利息等に充当する。



討論

一般会計決算

賛成討論

公共下水道事業、勝幡駅前周辺整備事業などの継続事業とともに、総合斎苑、学校給食センターが完成した。
その他、観光協会設立事業、子ども手当の充実、子宮頸がん等予防接種事業、家具転倒防止金具取り付け事業などは、市民の日々の生活に直接関連する望ましい事業である。

歳入では、市税が減少し、厳しい状況もあり、自主財源の確保を第一義に、不能欠損削減に努力する。歳出では、大事業は、必要性・緊急性を考え、費用対効果を考慮し、経費を圧縮するよう要望する。

反対討論

家具転倒防止金具取り付け事業、行政防災無線整備、子

宮頸ガンワクチン助成、自治基本条例制定や防災コミュニティセンターの全域整備に向けた予算など、住民要望に応え防災対策や市民参加を進める点は評価できる。
しかし、PFIによる給食センター建設、民間営利会社へのスポーツ施設の指定管理、特別会計への繰入金を減らして国民健康保険料引き上げたことなどには賛成できない。

庁舎統合計画も、斎場建設の問題が教訓とされず、市民の声を十分に聞かずに進められている。



人権擁護委員候補者

- 山田 彰子 氏 (鯉江町)
- 荻野 周子 氏 (勝幡町)
- 真野 一恵 氏 (須依町)